

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ名 探究と協同の学び研究会

テーマ 教員が「学びの専門家」として研修を積み研究を深めることで、教室における探究と協同の学びの実現を目指す。

取組のポイント・成果

【取組の内容とポイント】

◎教室における探究と協同の学びの実現を目指すために、「学びの共同体」の学校づくり・授業づくりに関する研修に参加し、探究的で協同的な深い学びとは何か理解し、学んだことを自校での実践につなげた。

①7月30日（火）・31日（水） 第25回「授業づくり・学校づくりセミナー」に参加

・学校づくり報告「聴き合い、学び合う児童の育成」 など

②8月3日（土） ぎふ学びの会 夏季研修会に参加

・授業ビデオ研修（岐阜市立岐阜清流中学校 3年社会「第二次世界大戦と日本」） など

③10月12日（土） 東海国語教育を学ぶ会 10月例会に参加

・授業ビデオ研修（小牧市立本庄小学校 5年国語「たずねびと」）

④12月8日（日） ぎふ学びの会 冬季研修会に参加

・授業ビデオ研修（海津市立海津小学校 3年算数「あまりのあるわり算」） など

⑤1月11日（土）・12日（日） 第23回学びの共同体研究大会

・学校づくり報告「一人ひとりが主人公となる学校」

・授業ビデオ研修（三重県紀宝町立井田小学校 6年算数「円の面積」） など

【成果】探究的な学びに特化した授業の実施によって、児童の学力の向上がみられた。さらに、論理的思考及び、教科の本質的な考え方を求められる問題に対して、根拠に基づいて解を導く力の向上がみられた。

〈全国学調の正答率の変化より〉

全国学調の正答率の3年間の変化を見ると、国語・算数ともに、年を追うごとに大きな向上がみられた。

このことから、「主体的・対話的で深い学び」に基づいたこの2年間の本校の学びのスタイルの授業により、一定の学力の向上に成果がみられることがわかった。

（本校の学力は、近年、全国・県平均を下回っている。）

〈全国学調の結果分析より〉

R6 全国学調の結果分析から、本校の児童は、論理的思考が問われる問題への正答率が、岐阜県や美濃地区より高いことがわかった。このことから、本校が取り組んでいるジャンプの問題による数学的学びの本質を捉えた深い学びにより、じっくり問題を読み、線分図を使うなどして、根拠に基づいて考えを導き出す力が身に付いていると考える。

今後の課題

より主体的で対話的な学びにするために、学びをコーディネートする教師の在り方について研究をし、学びの停滞をなくす柔軟な授業展開をすること、また、探究的な学びの実現のために取り組んでいる「ジャンプの課題」の時間を確保し、毎時間の子どもたちの深い学びを実現させることに取り組んでいきたい。